

バイオ式消滅型無臭・ 高速生ゴミ処理システム

企業 / (株) テックコーポレーション

研究者 / 野村正人（近畿大学工学部工業化学科教授）

生ゴミの発生量は年々増加し、自治体等の処理施設の能力を超えてきている。このことにより、生ゴミの処理はその排出者が発生元にて行わざるをえない状況にある。従来の生ゴミ処理では、強い悪臭の発生や生ゴミの分解処理時間が長いという問題点があり、いまだ本格的な普及には至っていない。そこで当社は、高吸着性素材を使用し、生ゴミの分解と同時に悪臭の元となる成分を吸着するハイブリッドバイオ菌を開発し、強い悪臭に相当する臭気成分を抑えながら、迅速に生ゴミを分解・消滅させるソフト(バイオ菌、脱臭剤)とハード(活性炭等を組み合わせた高機能脱臭システム処理機)の組み合わせからなる、バクテリア方式の消滅型生ゴミ処理システムを研究開発した。高機能脱臭システムの特長としては、生ゴミの分解と同時に臭気を吸着するハイブリッドバイオ菌、生ゴミの分解時に発生・拡散した臭気を吸着する高機能脱臭剤、処理槽内に発生・拡散した臭気を吸着する脱臭槽の開発。また、高速分解・消滅システムの特長としては、バイオ菌の媒体の調査・収集・実験等を通して、バクテリアに生ゴミを分解・消滅させるために要する処理システム連続稼働時間が約6時間の精製バイオ菌、処理槽の最適条件を設定・制御する方法、及び処理槽の構造を備えた処理機の開発。コンパクトサイズで排水施設が不要のため、設置場所を選ばず、レストラン・ホテル・給食センター・学校・病院など、生ゴミが多く排出される場所での潜在的需要が大きいと思われる。



無臭・高速生ゴミ処理
システム